



2026年7月10日

各位

会 社 名	株式会社リンクバル
代表者名	代表取締役社長 吉弘 和正 (コード番号:6046 東証スタンダード)
問合せ先	取締役 松岡 大輔 財務経理部長 (TEL. 050-1741-2300)

子会社**MiDATA**、手書き帳票の完全自動データ化を実現する**AI-OCR**サービス
「カタヨセ・タイムシート」ベータ版の提供開始に関するお知らせ
～DXの「ラストワンマイル」を解決し、企業の生産性向上に貢献～

株式会社リンクバル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:吉弘和正、以下「当社」)の100%子会社であり、AIソリューションの提供を通じて企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する株式会社MiDATA(本社:東京都中央区、代表取締役社長:後藤司、以下「MiDATA」)は、就業先ごとにフォーマットが異なるタイムシート・勤務表のデータ入力業務をAIで自動化する新サービス「カタヨセ・タイムシート」のベータ版を、本日より提供開始いたします。

1. 背景と目的

社会全体でデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速する一方、多くの業界では依然として紙媒体の手書き書類が広く用いられています。業務の実態を踏まえれば、紙媒体が依然として有効な場面も存在します。しかし、日本の少子高齢化が進む現状において、企業が持続的に成長するためには業務効率化が不可欠です。こうした背景のもと、現場の実態に寄り添いながらも、AIやデジタルの力を適切に活用できるソリューションが求められています。

従来のOCR(光学的文字認識)技術では、文字の認識は可能であるものの、その情報の意味を理解し、業務で利用可能な「構造化データ」にまで変換することは困難でした。そのため、読み取り後のデータ整理やシステム入力といった工程で人手が必要となり、業務プロセスの「完全な自動化」を妨げる大きな障壁となっていました。

このDXの「ラストワンマイル」とも言える課題を解決するため、MiDATAの持つAI開発の知見を用いて、手書き文字の読み取りからデータ構造化までをワンストップで実現する、実務の現場に寄り添ったサービスを開発いたしました。

2. 新サービスの概要と特長

本サービスは、申込書、アンケート、日報といった、あらゆる手書き帳票に対応できる柔軟性を有します。お客様は紙の書類をスキャンするだけで、整理・構造化されたデジタルデータをアウトプットし、業務システムに連携できます。

- 最大の特長：
 - 事前のOCR読み取り設定が不要
 - 非構造化データを構造化されたデータに変換
- 導入企業のメリット：
 - データ入力にかかる人的工数の大幅な削減
 - ヒューマンエラーの防止によるデータ精度の向上
 - 削減したデータ入力工数を創造的な業務に集中

3. 今後の展望

当社グループは、本サービスの提供を通じて、金融、自治体、医療、製造業など、いまだ多くの手書き帳票が残る業界のDXを推進してまいります。

今回の新サービスは、MiDATAの持つAI開発の知見を用いて新たな社会的価値を創造するという、当社グループの強みを体現するものです。今後も市場のニーズを的確に捉えたAIソリューションを積極的に展開し、社会全体の生産性向上に貢献するとともに、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以上